

第五次総合計画づくりを進めています

Vol.2

わが国の総人口は平成18年にピークを迎え、その後減少に転じています。こどもの出生数も年々減少し、一人の女性が一生のうちに産むこども数の平均も、平成17年には過去最低の1.26人を記録しました。また、近年地方都市においては、市況価格低迷や後継者不足による農林水産業の停滞、中心市街地の空洞化や製造業の縮小などが進んでいます。

このように、われわれを取り巻く社会環境が「縮小傾向」へと大きく変化するなかで、わたしたちは今後の10年間でどのような行動をとっていくべきか、今回は人口、各産業などの本市の現状や、1月に実施した市民アンケート調査結果をみてみましょう。

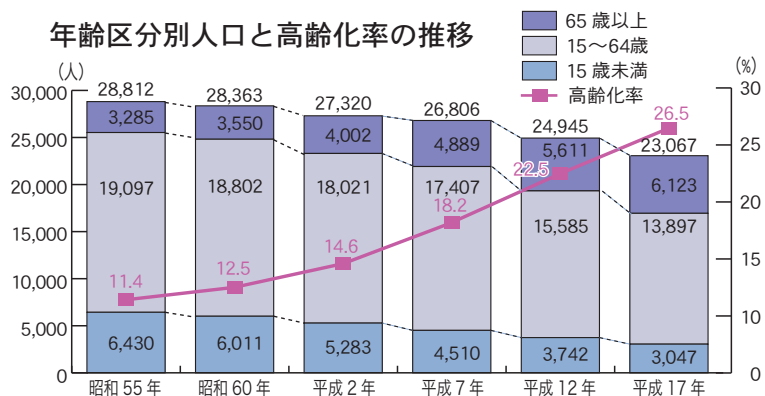
企画財政課企画調整係 1101

鳥羽市の現状

①人口の移り変わり

本市の人口は、昭和35年国勢調査の30,521人をピークにゆるやかな減少局面に入り、平成12年度の国勢調査からは減少率が大きくなっています。急激な人口減少や少子・高齢化による社会構造の変化は、年金や医療などの社会保障制度に深刻な影響を与えるとともに、労働人口の減少による経済活動の停滞、地域の活力低下などを引き起こす原因となります。

年齢区分別人口と高齢化率の推移

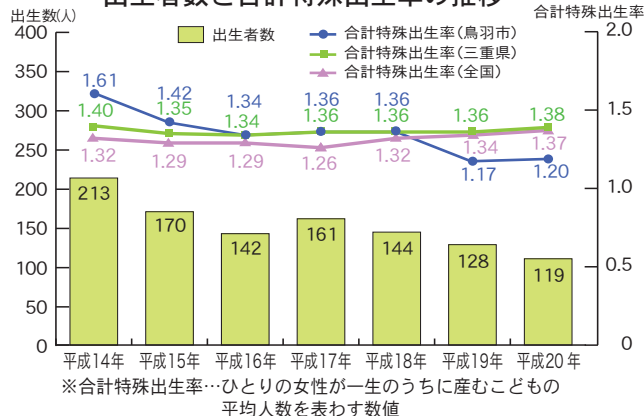


②各産業の傾向

主な産業で働く人や生産高などの傾向は次のとおりです。

- 農業 就業者がどの産業よりも大幅に減少しており、総生産額も減少傾向となっています。
- 漁業 農業ほどの就業者数の減少はみられませんが、総生産高ともに減少傾向となっています。
- 商業 商店数・従業者数・商品販売額ともに、減少傾向にあります。
- 工業 事業所数・従業者数・製造品出荷額とも、おおむね横ばい状況となっています。

出生者数と合計特殊出生率の推移



各産業の推移

農業

	H 2	H 7	H12	H17	単位	出典
就業者数	733	704	477	334	人	農林業センサス
	H15	H16	H17	H18		出典
総生産額	89	83	84	79	千万円	東海農政局調べ

漁業

	H 5	H10	H15	H20	単位	出典
就業者数	2,846	2,531	2,270	1,866	人	漁業センサス
	H16	H17	H18	H19		出典
総生産高	19,301	20,017	16,374	17,853	t	農水商工課調べ

商業

	H11	H14	H16	H19	単位	出典
商店数	566	480	445	440	件	商業統計調査
従業者数	2,284	1,868	1,875	2,009	人	
商品販売額	40,788	30,822	32,597	30,589	百万円	

工業

	H17	H18	H19	H20	単位	出典
事業所数	64	60	60	59	件	工業統計調査
従業者数	750	730	756	764	人	
製造品出荷額	11,170	10,767	10,917	11,956	百万円	

有効求人倍率、高校生の求人・求職者数

伊勢管内

単位：人

	有効 求人 倍率	新規学卒者(高校)		就職先の内訳		
		求人数	就職者数	管内へ	県内へ	県外へ
H18	1.19倍	795	680	351	160	169
H19	1.08倍	878	754	359	236	159
H20	0.87倍	916	736	354	227	155

資料：伊勢ハローワーク

④雇用状況
本市の平成17年の完全失業率は県内で最も低い3・5%となっており、女性の就業率も県内第三位となっています。しかし、伊勢ハローワーク管内の有効求人倍率は近年下降を続け、高校卒業と同時に半数以上が働き口を伊勢管外へ求めていく状況にあります。

③本市を訪れる観光客の動向
観光入込客数は、平成3年の699万人をピークに減少を続け、平成21年には430万人となっています。
今回お知らせしている総合計画より一足先に「観光基本計画」をつくり、官民一体となった観光振興への取り組みを始めています。

アンケートの結果

本年1月に市民2,000人のかたがたを対象に実施した意識調査においては、こういった地域環境のなかで、みなさんにとってさまざまな施策が「重要であるかどうか」と、その施策に「満足しているかどうか」を中心にお尋ねしました。

5年前に実施した同調査と比べると、相対的に満足度は向上しています(前回平均2・66↓今回平均2・86)。特に満足度が向上した施策として「ごみの分別・リサイクル推進」、「子育て環境」などがあげられます。(図1)

また、「重要度、満足度とも高い施策」として、前述の施策のほか「保健・予防」や「防災体制」、「交通安全・防犯活動」があります。これらは、今後も現状の取組みを継続していくべき施策であるといえます。(図2)

逆に「重要なのに満足度が低い施策」として、「各産業の振興」や「雇用の安定」などがあります。これらは、今後現状の取り組みを重点的に見直していくべき施策であるといえます。(図3)

図1

(5段階評価)

5年前と比べ満足度が向上した施策	今回	前回
ごみの分別やリサイクルの推進	3.69	2.55
水道の安定的供給	3.97	3.19
伊勢市・志摩市等との広域行政(介護、ごみ、し尿等)の充実・推進	2.80	2.25
下水道事業の促進	2.89	2.37
子育て支援や保育サービスなどの子育て環境	3.01	2.54
不法投棄対策などの環境美化や地域の環境衛生	2.93	2.47
交通安全と防犯活動	3.22	2.81
財政運営や公営企業会計の健全化など効率的な財政運営	2.65	2.24
公園や親水空間の創出	3.01	2.62
鳥羽らしい都市景観の形成	2.92	2.55

図2

重要度、満足度がともに高い施策	重要度	満足度
水道の安定的供給	4.53	3.97
ごみの分別やリサイクルの推進	4.25	3.69
健康を支える健康診断の実施など保健・予防	4.43	3.35
自主防災組織の結成や防災訓練など防災体制	4.29	3.20
交通安全と防犯活動	4.25	3.22
教育施設の整備や教育内容の充実などの学校教育	4.38	2.97
子育て支援や保育サービスなどの子育て環境	4.31	3.01
健康保険や年金制度などの社会保障制度	4.50	2.80
介護保険や介護サービスなどの介護福祉	4.42	2.88
介護予防や老人保健サービスなどの高齢者福祉	4.40	2.88

図3

重要度が高く、満足度が低い施策	重要度	満足度
商店街の魅力化・活性化と地域商業の振興	4.31	1.99
病気や診療所などの医療サービスや救急医療体制	4.69	2.55
中小企業の育成や企業誘致など工業の振興と操業環境の維持	4.21	2.19
雇用の安定、ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)に配慮した職場環境整備	4.24	2.36
観光資源の保護や観光基盤の整備・ネットワーク化による観光地の魅力化	4.27	2.42
労働条件の改善や各種資金制度拡充などの勤労者福祉	4.18	2.43
水産業の担い手育成や水産基盤の整備と水産資源の管理	4.20	2.49
健康保険や年金制度などの社会保障制度	4.50	2.80
土砂災害や高潮などに対する防災対策	4.41	2.75
農業・林業の担い手育成や農地・森林の保全	4.09	2.44

来月号では、こういった現状認識を踏まえ、「まちづくり提言市民会議」において市民の皆さんや専門知識を有する「みななでめざすまちの姿」についてお伝えします。



今後も策定状況をお知らせしていきます

計画づくりの進行状況については、「市ホームページ」で最新情報をご覧ください。

総合計画ホームページ

URL

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/kikaku/dai5jikeikaku/sougoukeikaku.htm>

都市マスタープランホームページ

URL

<http://www.city.toba.mie.jp/kakuka/machi/tosikeikaku/tosikeikaku.htm>